

4-1 既存の棚割モデルを開く

概要

既存の棚割モデルや取り込んだ棚割モデルを呼び出して内容を確認、または編集する場合は「開く」から実行します。棚割モデルは4種類あり、最大4モデルまで同時に開くことができます。

【棚割モデルの種別】

実施 … 正式採用され、店舗で展開される棚割モデル。世代管理されています。

提案 … 仮の棚割モデル。インポートした棚割モデルは提案モデルとして保存されます。

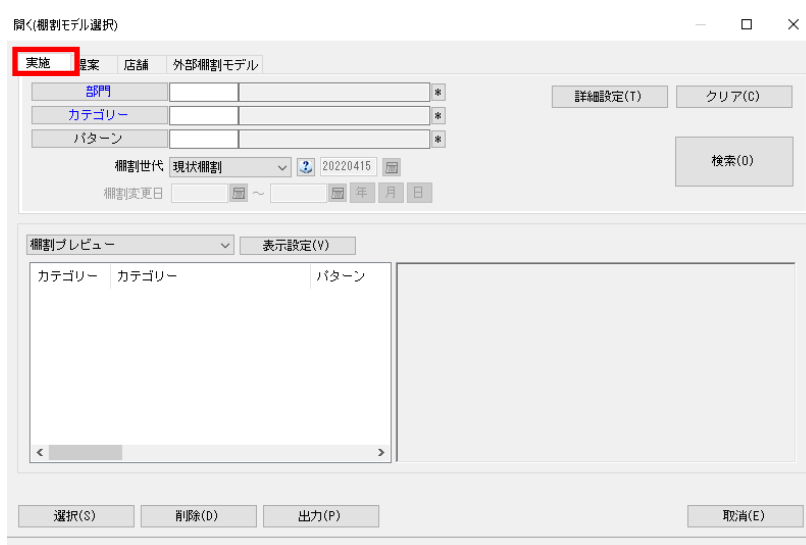
店舗 … 実際に店舗で展開される棚割モデル。実施モデルと店舗を紐づけることで自動作成されます。

外部 … 店POWER内に取り込んでいない棚割モデル。ファイルの保存場所を指定して開きます。

起動方法



操作方法



実施モデルを開く

1. 「棚割操作」－「開く」をクリックします。
2. 「実施」タブを選択します。
3. 「部門」または「カテゴリ」を指定します。(必須)
検索条件をより細かく指定したい場合は「パターン」や「詳細設定」で絞り込みます。
4. 「棚割世代」を選択します。

現状棚割	現時点で採用されている棚割モデル（棚割変更日が直近過去の棚割モデル）
未来棚割	次回以降に予定している棚割モデル（棚割変更日が未来日付の棚割モデル）
過去棚割	以前に採用していた棚割モデル（現状棚割以前の過去の棚割モデル）
入力日の直近過去	棚割変更日が入力日付以前（入力日付を含む）の過去直近に採用された棚割モデル

5. 「検索」をクリックします。

6. 一覧内から棚割モデルを選択し、[選択] をクリックします。

提案モデルを開く

1. [棚割操作] - [開く] をクリックします。
2. [提案] タブを選択します。
3. [部門] や [カテゴリー]、[パターン]、作成日付、[詳細設定] など必要に応じて検索条件を指定します。
4. [検索] をクリックします。
5. 一覧内から棚割モデルを選択し、[選択] をクリックします。

店舗モデルを開く

1. [棚割操作] - [開く] をクリックします。
2. [店舗] タブを選択します。
3. [店舗] を指定します。(必須)
[部門] や [カテゴリー] を検索条件として必要に応じて指定します。
4. 「棚割世代」を選択します。
5. [検索] をクリックします。
6. 一覧内から棚割モデルを選択し、[選択] をクリックします。

外部棚割モデルを開く

1. [棚割操作] - [開く] をクリックします。
2. [外部棚割モデル] タブを選択します。
3. 「フォルダーの設定」右横のフォルダーアイコンをクリックして、棚割モデルの保存場所を指定します。
4. 「ファイル形式」で棚割モデルのファイルの種類を選択します。

外部棚割モデル [* .MPW]	店POWER独自の棚割モデル形式
外部棚割モデル [* .TPW]	棚POWER独自の棚割モデル形式
棚割互換形式 [* .CSV]	棚割配置情報(PTS)よりも再現性が高く、他社棚割ソフトと互換性のある新規格の形式
棚割配置情報 (PTS) [* .CSV]	他社棚割ソフトと互換性のある共通フォーマット形式
外部棚割モデル (旧) [* .MDL]	旧店POWER独自の棚割モデル形式
全ての外部モデル	上記全てのファイル形式を対象にします

5. [検索] をクリックします。
6. 一覧内から棚割モデルを選択し、[選択] をクリックします。

■ 特記事項

- 棚割世代が「現状棚割」「過去棚割」で、店舗が割り付いている実施モデルは削除できません。
- 棚割世代が「未来棚割」の実施モデルを削除すると、割り付いている店舗モデルも同時に削除されます。
- 現状棚割を検索する際に、未来棚割が存在する場合は現状棚割に色が付きます。
- 棚割検索時、棚割世代の横にあるヘルプボタンより棚割世代の詳細を確認できます。
- 店舗モデルを開く際、店POWERの環境設定で「棚割保存を禁止する(店舗)」が有効になっている場合には選択ボタンは表示されず「読み取り専用で開く」ボタンが表示します。

4-2 棚割モデルを新規作成する（基本情報を登録）

概要

新しい棚割モデルを作成します。

新規の棚割モデルを表示させた後は、棚割モデルがどの部門、カテゴリーに属する等の基本情報を設定します。

基本情報では棚割モデル名称や作成者氏名、棚割変更日なども設定できます。

起動方法



操作方法

1. [棚割操作] - [新規作成] をクリックして、「什器選択」画面より挿入したい什器（台）を選択します。
2. [棚割操作] - [基本情報] をクリックします。
3. 各項目に棚割モデルの情報を入力して、[設定] をクリックします。

棚割モデル種別	提案	検討用の仮の棚割で店舗に割り付けられません。 編集中の棚割モデルなどはモデル種別を「提案」にして保存しておき、完成後に「実施」に変換します。
	実施	本番用の棚割で店舗の割付が可能です。
部門	ボタンをクリックして一覧より部門コードを選択します。	
カテゴリー	ボタンをクリックして一覧よりカテゴリーコードを選択します。	
パターン	ボタンをクリックして一覧よりパターンコードを選択 します。	
作成日付 or 棚割変更日	提案の場合は「作成日付」を入力します。 「年」「月」「日」ボタンをクリックすると、当日の年月日が自動反映されます。	
	実施の場合は「棚割変更日」（実際に店舗で棚替え作業をする日付）を入力します。 [自動算出]ボタンをクリックすると、環境設定の条件に沿って日付が自動反映されます。 （[?]ボタンを選択して POWERSCREEN への連携日程を確認することも可能です）	
棚割モデル名称	棚割モデルの名称を入力します。	

作成者氏名	作成者の部署名や氏名などを入力します。
展開時期	春・夏・秋・冬・春夏・秋冬・上期・下期から選択可能です。

■ 特記事項

- 実施モデルで保存する場合は「カテゴリー」や「パターン」、「棚割変更日」の入力が必須です。
- 作成日付や棚割変更日はカレンダーアイコンより設定することも可能です。
- 棚割変更日の[?]ボタンは POWERSCREEN との連携がある場合のみ表示されます。

4-3 什器を設置する（基本操作）

概要

〔什器配置〕タブでは什器サイズの変更や、台や棚板の追加、移動など什器の設定に関する機能が集約されています。台の編集時は〔台編集〕を選択、段の編集時には〔段編集〕を選択というように切り替えて、台や段の追加や移動、削除をすることができます。

起動方法



操作方法

台を編集する

〔台編集〕を選択します

台の追加

1. 〔挿入〕をクリックします。
2. 「什器選択」画面から追加したい台を選択します。
3. 画面上で台を追加したい場所をクリックします。クリックした場所の左側に入ります。

台の移動

1. 〔移動〕をクリックします。
2. 移動したい台の上でクリックします。
3. 移動させたい場所でクリックします。クリックした場所の左側に入ります。

台の複写

1. 〔複写〕をクリックします。
2. 「複写オプション」から複写する台の陳列商品、POP を含むか含まないかを選択します。
3. 複写したい台の上でクリックします。
4. 複写させたい場所でクリックします。クリックした場所の左側に入ります。

台の削除

1. 〔削除〕をクリックします。
2. 削除したい台の上でクリックします。

段を編集する

〔段編集〕を選択します

棚の追加

1. 〔挿入〕をクリックします。
2. 「棚追加」画面から追加したい棚の種類を選択します。
3. 棚を追加したい場所でクリックします。

棚の移動

1. [移動] をクリックします。
2. 移動したい棚の上でクリックします。棚と棚の間隔が狭い場合は、移動したい棚の少し上をクリックします。
3. 移動させたい場所でクリックします。

棚の複写

1. [複写] をクリックします。
2. 「複写オプション」から複写する棚の陳列商品、POP を含むか含まないかを選択します。
3. 複写したい棚の上でクリックします。
4. 複写させたい場所でクリックします。

棚の削除

1. [削除] をクリックします。
2. 削除したい棚の上でクリックします。

4-4 商品を陳列する（表示画面の設定）

概要

〔商品配置〕タブでは、棚に商品の挿入や移動、複写、削除などの他にも、様々な陳列方法を再現できる機能が集約されています。

起動方法



操作方法

商品リスト

商品リストから棚に陳列する商品を選択します。

[Shift] や [Ctrl] キーを使用して商品をまとめて選択し、陳列できます。

〔商品〕タブ

メーカーや品種といった条件で表示させる商品を絞り込み、一覧で表示します。

※〔商品〕タブを使用するには〔棚割操作〕－〔基本情報〕で「カテゴリ」の選択が必要です。

〔削除〕タブ

編集中の棚割モデルから削除された商品を一覧で表示します。

〔絞込検索〕タブ

店POWERの全商品や、特定の分類やカテゴリ、指定した棚割モデルの陳列商品、商品名など様々な条件で検索し、一覧で表示します。

〔単品検索〕タブ

商品の共通商品コード、またはプライベートコードで商品を検索します。



仮置情報

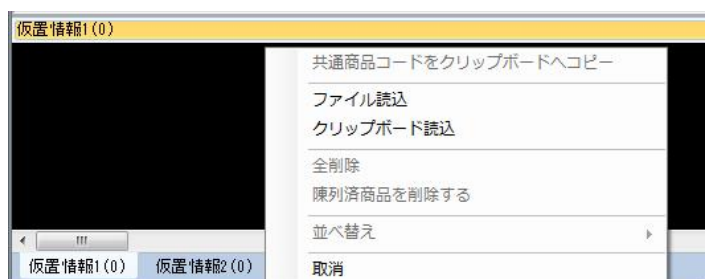
仮置情報は棚以外に商品を置いておくスペースです。

仮置情報には1と2があり、1に陳列候補商品、2にカットした商品を置いておくというような使い方ができます。

また、Excel ファイルなどの「JAN コード」をコピーして仮置情報内に呼び出すことが可能です。

※マスターに未登録の商品はダミーイメージ（表示は「未登録」）で表示します。






仮置情報内に呼び出した商品は、〔商品配置〕－〔移動〕または〔複写〕で棚に移動・複写できます。



表示解像度

棚割編集画面の表示解像度は画面右下で調整が可能です。



 (再描画)	クリックすると、表示画面の乱れを修正します
 (ダミー表示)	クリックすると、商品画像の代わりにダミーイメージで表示します
 (棚幅基準)	クリックすると、棚全体の幅が画面に収まるように表示します
 (棚高基準)	クリックすると、棚の高さが画面に収まるように表示します 台が多い場合は横スクロールバーが表示されます
 (自動調整)	クリックすると棚の幅、高さともに画面に収まるように表示します

ウィンドウ

複数の棚割モデルを開いた場合の表示方法を選択できます。

「重ねて表示」

1モデルずつ重ねて表示します

「並べて表示(横)」

モデルを横に並べて表示します

「並べて表示(縦)」

モデルを縦に並べて表示します



4-4 商品を陳列する（基本操作）

概要

〔商品配置〕タブでは、棚に商品の挿入や移動、複写、削除などの他にも、様々な陳列方法を再現できる機能が集約されています。

起動方法



操作方法

商品の陳列ルール

挿入する商品が選択したボタンの陳列ルールで陳列されます。

左詰め	商品を左端から順番に陳列します
右詰め	商品を右端から順番に陳列します
均等	商品を中央から均等に陳列します
自由	ボタンを何も選択していない場合、商品をクリックした位置に陳列します

商品を棚に挿入する

1. 〔商品挿入〕をクリックします。
2. 商品リストから挿入したい商品を選択します。
(複数の商品をまとめて挿入する場合は [Shift] , [Ctrl] キーを使用して商品を選択します)
3. 棚内の陳列したい位置をクリックします。

商品を移動・複写する

1. 〔移動〕または〔複写〕をクリックします。
2. 棚内の移動・複写したい商品を選択します。
3. 複数の商品をまとめて移動・複写する場合は範囲選択（ドラッグ）します。
4. 棚内の商品を移動・複写したい場所でクリックします。

商品を削除する

1. 〔削除〕をクリックします。
2. 棚内の削除したい商品を選択します。複数の商品をまとめて削除する場合は範囲選択（ドラッグ）します。

指定した商品を棚から削除する

1. 〔一括商品削除〕-〔指定商品削除〕をクリックします。
2. 削除したい共通商品コードを入力します。〔貼り付け〕より削除したい複数の商品をまとめて選択することもできます。
3. 〔実行〕をクリックします。

陳列している全商品を削除する

1. 〔一括商品削除〕-〔全商品削除〕をクリックします。
2. POP を含めて削除する場合には「POP も削除する」にチェックを入れます。
3. 〔実行〕をクリックします。

商品を積上げる

陳列商品の上に、商品を積上げます。

陳列商品と同じ商品を同じ面で積み上げる

1. 「積上/積下」をクリックします。
2. 「積上/積下」画面から「積上（同一面）」を選択します。
商品を複数フェイス積み上げる場合には、「積上数」を設定します。
3. 積上げたい陳列商品をクリックします。
複数の商品をまとめて積上げたい場合は範囲選択（ドラッグ）します。

陳列商品と同じ商品を別の面で積み上げる

1. 「積上/積下」をクリックします。
2. 「積上/積下」画面から「積上（面指定）」を選択します。
3. 「面指定」のドロップダウンリストより、積上げたい面を選択します。
商品を複数フェイス積み上げる場合には、「積上数」を設定します。
4. 積上げたい陳列商品の上でクリックします。
複数の商品をまとめて積上げたい場合は範囲選択（ドラッグ）します。

陳列商品と別の商品を積み上げる

1. 「積上/積下」をクリックします。
2. 「積上/積下」画面から「積上（別商品）」を選択します。
積上商品は「挿入」「複写」「移動」より選択できます。
挿入・商品リストより積上げる商品を出して積上します。
複写・棚割モデル内の陳列商品を複写して積上します。「複写」選択後、該当商品をクリックします。
移動・棚割モデル内の陳列商品を移動して積上します。「移動」選択後、該当商品をクリックします。
3. 商品を複数フェイス積み上げる場合には、「積上数」を設定します。
4. 「編集」をクリック後、別商品積上の商品をクリックすると、「編集（別商品積上）」のウィンドウが開きます。
「編集（別商品積上）」で商品の積上順を変更することができます。

積上げた商品を削除する

1. 「積上/積下」をクリックします。
2. 「積上/積下」画面から「積下」を選択します。
3. 削除したい積上げ商品の上でクリックします。
複数の商品をまとめて削除したい場合は範囲選択（ドラッグ）します。
※ 「削除」を使用すると、一番下の商品を含めクリックした陳列商品すべてが削除されます。

陳列している商品の情報を確認する

1. 「商品詳細」をクリックします。
2. 棚内の商品をクリックします。
3. 「商品詳細」画面が表示します。登録内容を編集する場合は、「商品詳細」画面右上の「商品情報」, 「商品画像」, 「売上情報」から、それぞれのメンテナンス画面を呼び出すことができます。

商品の配置を整える

棚に陳列した商品を位置を変更します。

左詰め、右詰め以外にも、棚の中央に寄せたり、均等に配置したり、左右を入れ換えたりすることができます。

棚単位で配置を変更する

1. 「配置変更」をクリックします。
2. 「配置変更」画面から、変更したい配置機能を選択します。
3. 配置を変更したい棚内でクリックします。

全台一括で配置を変更する

1. 「配置変更」をクリックします。
2. 「配置変更」画面から、変更したい配置機能を選択します。
3. 「一括設定」をクリックします。
4. 確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックします。

全台の左右の位置を反転する

1. 「配置変更」をクリックします。
2. 「配置変更」画面から、「台単位」下の「左右反転」をクリックします。
3. 確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックします。

特記事項

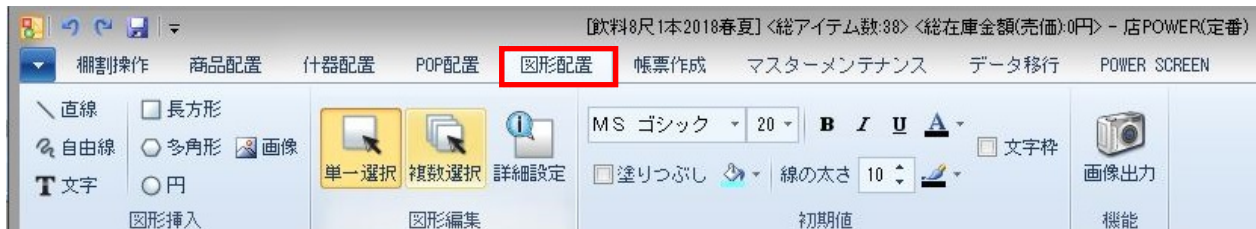
- 「積上/積下」
手前挿入を行なっている商品、投込商品、フリー領域は積上げできません。
「指定数」で設定した数以上に積み上げられなかった場合、「下記商品は指定数まで積上処理できませんでした。積上済数まで積上処理が完了しています。」とメッセージが表示し、対象の共通商品コードと積上済数を表示します。
- 「配置変更」
台単位の「左右反転」を実行した場合には図形配置の設定も連動して左右反転されます。

4-5 任意のコメントや図形を追加する

概要

〔図形配置〕タブでは、作成した棚割に直線や曲線、長方形や円などの図形や文字、画像を配置することができます。例えば、新商品を枠で囲って目立たせたり、指示内容を棚割モデル上に入力したりすることが可能です。

起動方法



操作方法

図形を配置する

配置する線や図形、文字の太さや色などは「初期値」の内容を反映するため、必要に応じてあらかじめ設定します。

直線を挿入する

1. [直線] をクリックします。
2. 編集画面上で線を引きたい場所の始点から終点までをドラッグします。
3. 始点から終点までが直線につながれます。

自由に線を引く

1. [自由線] をクリックします。
2. 編集画面上でドラッグしながら自由に線を引きます。
3. ドラッグの軌跡が図形になります。

長方形を配置する

1. [長方形] をクリックします。
2. マウスイカーソルが矢印から十字に変わります。
3. 編集画面上の長方形を設置したい場所で長方形の左上を始点に、右下の終点までをドラッグします。

円を配置する

1. [円] をクリックします。
2. マウスイカーソルが矢印から十字に変わります。
3. 棚内の円を設置したい場所でドラッグします。ドラッグした範囲に内接して円が作成されます。

文字を入力する

1. [文字] をクリックします。
2. マウスイカーソルが矢印から十字に変わります。
3. 棚内の文字を記載したい場所で入力範囲をドラッグして指定します。
4. キーボードで文字を入力します。
5. 文字入力後、入力範囲のすぐ外をクリックします。
※編集画面内であればどこでも良いですが、上部機能ボタン（リボン）をクリックすると入力取り消されます。

画像を配置する

1. [画像] をクリックします。
2. マウスイカーソルが矢印から十字に変わります。
3. 画像を配置したい場所を範囲選択（ドラッグ）します。
4. 「ファイルを開く」画面が表示されます。
5. 挿入したい画像を選択して [開く] をクリックします。
※縦横比を維持した状態で選択した画像を配置します。
この時の画像のサイズは、範囲指定した縦、横のうち短い方を基準にサイズを設定します。

配置した図形を編集する

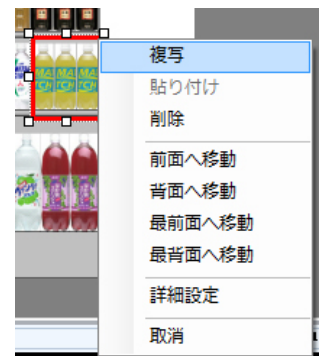
編集画面上に配置した線は複写や順序の変更、また色や太さ、大きさや角度などの変更が可能です。
また、配置した図形や文字は移動や複写、削除をすることも可能です。

図形を移動する

1. [単一選択] をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 移動したい場所にドラッグします。

図形を複写する

1. [単一選択] をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 右クリックして [複写] を選択します。
3. 複写したい場所でクリックします。
4. 右クリックして [貼り付け] を選択します。



図形の大きさを変更する

1. [単一選択] をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 図形の四隅に口（ハンドル）が表示されます。
3. 口の部分をドラッグして大きさを変更します。

図形を回転させる（角度を変更する）

1. [単一選択] をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 図形の四隅に口（ハンドル）が表示されます。
3. 四隅の口のやや外側にマウスイカーソルを持っていくとマウスイカーソルの形が変更されます。
4. ドラッグして回転させます。



図形を削除する

1. [単一選択] をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 右クリックして [削除] を選択します。キーボードの Delete キーでも削除できます。

図形やコメント(文字)をまとめて削除する

1. [複数選択] をクリックして、対象の図形が含まれる範囲をドラッグします。
2. ドラッグした範囲内の図形が選択されます。
3. 右クリックして [削除] を選択します。キーボードの Delete キーでも削除できます。

線の色を変更する

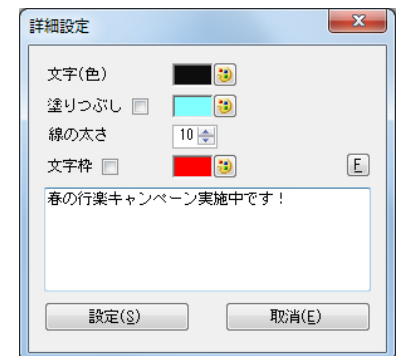
1. 「詳細設定」をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 「詳細設定」画面の「線色」横の色設定ボタンを選択します。
3. 変更したい色を選択して、「設定」をクリックします。

塗りつぶしの色を変更する

1. 「詳細設定」をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 「詳細設定」画面の「塗りつぶし」横の色設定ボタンを選択します。
3. 変更したい色を選択して、「設定」をクリックします。
※塗りつぶしを設定したくない場合は「塗りつぶし」横のチェックボックスを無効にします。

線の太さを変更する

1. 「詳細設定」をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 「詳細設定」画面の「線の太さ」の値を変更します。
3. 「設定」をクリックします。



文字枠の色を変更する

1. 「詳細設定」をクリックして、対象の図形の上でクリックします。
2. 「詳細設定」画面の「文字枠」横の色設定ボタンを選択します。
3. 変更したい色を選択して、「設定」をクリックします。
※塗りつぶしを設定したくない場合は「文字枠」横のチェックボックスを無効にします。

文字の入力内容を変更する

1. 「詳細設定」をクリックして、対象の文字の上でクリックします。
2. 下部にあるテキストボックス内の文字を直接変更します。
3. 「設定」をクリックします。

文字のフォントを変更する

1. 「詳細設定」をクリックして、対象の文字の上でクリックします。
2. 「詳細設定」画面内の [F] をクリックします。
3. フォント設定を行ないます

フォント名	フォントの種類を選択します。
スタイル	太字や斜体などのスタイルを設定します
サイズ	フォントサイズを設定します
文字飾り	取り消し線や下線を引くかを設定します
4. [OK] をクリックします。
5. 「設定」をクリックします。

図形配置した棚割の画像を出力する

[図形配置] より配置した線, 図形, 文字を含めた棚割画像を出力します。クリップボード出力, 画像ファイル出力が可能です。また、帳票作成「棚割図」を作成する際に通常の棚割図の代わりに図形配置後の棚割図を出力することも可能です。

クリップ画像としてファイルに貼り付ける

1. [画像出力] をクリックします。
2. 「画像出力」画面が表示します。
3. 出力台をドロップダウンリストより選択します。
全台, 台別, 台別 (1 頁出力) より選択できます。
4. [クリップボード] をクリックします。
5. 確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
6. 貼り付けたいソフト (Excel など) を立ち上げます。
7. 貼り付けたい場所で右クリックし、貼り付け (Excel の場合) などで貼り付けを行いません。

画像ファイルとして出力する

1. [画像出力] をクリックします。
2. 「画像出力」画面が表示します。
3. 出力台をドロップダウンリストより選択します。
4. 全台, 台別, 台別 (1 頁出力) より選択できます。
5. [ファイル出力] をクリックします。
6. 「名前を付けて保存」画面で任意のファイル名を付けます。
7. 任意の場所を選択し、[保存] をクリックします。

棚割図として出力する

1. [帳票作成] - [棚割帳票] より出力したい帳票を選択します。
2. 設定画面の [詳細設定] をクリックします。
3. [棚割図] タブのオプション設定内「図形配置画像を優先して出力する」を有効にします。
4. [設定] をクリックします。
5. 通常の棚割画像の代わりに、図形配置後の棚割画像が出力されます。

特記事項

- 複数選択で選択した複数の線、図形、文字、画像いずれも、まとめて複写することはできません。
また、まとめて編集することもできません。
- 図形配置した棚割の画像を反映できる帳票は棚割図, 棚割図表, 追加変更棚割図, 追加変更棚割図表です。

4-6 作成した棚割モデルを保存（作成した棚割モデルを内部に保存する）

概要

作成した棚割モデルを内部モデルとして保存します。

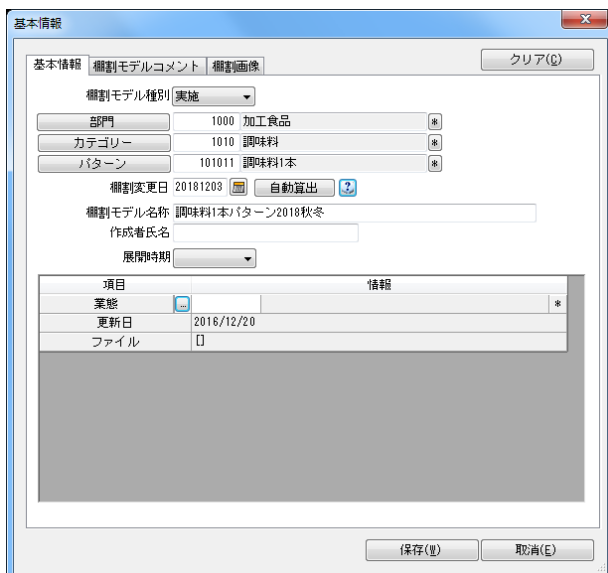
開いている棚割モデルに変更内容を上書きする場合は〔棚割操作〕－〔保存〕－〔上書き保存〕を選択します。

別の棚割モデルとして保存する場合は〔棚割操作〕－〔保存〕－〔名前を付けて保存〕を選択します。

起動方法





操作方法



実施モデルとして保存する

1. 〔棚割操作〕－〔保存〕－〔名前を付けて保存〕を選択します。
2. 「基本情報」画面が表示します。
3. 「棚割モデル種別」から「実施」を選択します。実施モデルを編集の場合は初期値が「実施」になっています。
4. [カテゴリ]、[パターン] を指定します。(必須)
5. 「棚割変更日」を指定します。(必須)
[自動算出] をクリックすると、環境設定の設定内容を基に自動で日付が入力されます。
([?] ボタンを選択して POWERSCREEN への連携日程を確認することも可能です)
6. [保存] をクリックします。
7. 環境設定の設定内容により、保存処理時、モデルを開いた時との差を確認し、削除商品が存在する場合は削除区分の設定画面を表示します。
8. 削除指示画面より商品単位で削除区分の設定ができます。
9. 削除区分を設定する場合には登録の実行前に環境設定 [その他設定] により表示項目を設定できます。

POWERSCREEN への連携日程を確認する

棚割変更日 20210301  自動算出  →

[?]ボタンを選択すると POWERSCREEN 連携日程を確認できます。

POWERSCREEN 連携日程の画面では、本日日付を起点(出力日付)とした場合の出力対象期間が表示されます。

出力対象期間に棚割変更日が含まれる場合には POWERSCREEN へ出力されるため、保存する棚割がいつ POWERSCREEN に公開されるかを確認する際にご活用ください。
(出力対象期間の設定は [POWERSCREEN] タブー [自動出力設定] にて設定されています)



POWERSCREEN連携日程

日付
20210301 2021 / 3

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	1

出力日付  出力対象期間 

終了(E)

提案モデルとして保存する

1. [棚割操作] - [保存] - [名前を付けて保存] を選択します。
2. 「基本情報」画面が表示します。
3. 「棚割モデル種別」から「提案」を選択します。
4. [部門] や [カテゴリ]、[パターン]、作成日付、棚割モデル名称など必要に応じて設定します。
必須項目はありません。
5. [保存] をクリックします。

特記事項

- 実施モデルを新規で作成した場合、棚割変更日を本日または過去の日付にして保存できません。
- 既存の実施モデルを開いた場合、過去の日付に変更して上書き保存はできませんが、現状の棚割変更日が過去の日付でも上書き保存が可能です。未来の日付に変えると上書き保存ではなく、新たに別の棚割モデルとして保存されます。
- 未来の実施モデルの日付を変えて「上書き保存」をクリックした場合、既存の棚割モデルは上書きされず、新たに別のモデルとして保存されます。
- 実施モデルとして保存する際、未発売や発売中止の商品が存在すれば「未発売か発売中止商品を陳列しています。ハイライト・未発売/発売中止で確認できます。保存しますか?」の確認メッセージが表示されます。
[棚割操作] - [オプション] より「棚割保存時に未発売/発売中止商品をチェックする」が無効の場合には確認メッセージは表示されません。
- 棚割変更日の[?]ボタンは POWERSCREEN との連携がある場合のみ表示されます。
- 環境設定で発売中止もしくは終売商品の陳列をできないように制限することができます。
制限している場合、それらの商品が陳列されている状態で実施モデルを保存しようとするとエラーが表示されます。
どの商品がエラーになっているかは [棚割操作] - [ハイライト] より「未発売/発売中止」で色分けを行なうことで確認できます。

4-6 作成した棚割モデルを保存（作成した棚割モデルを外部に保存する）

概要

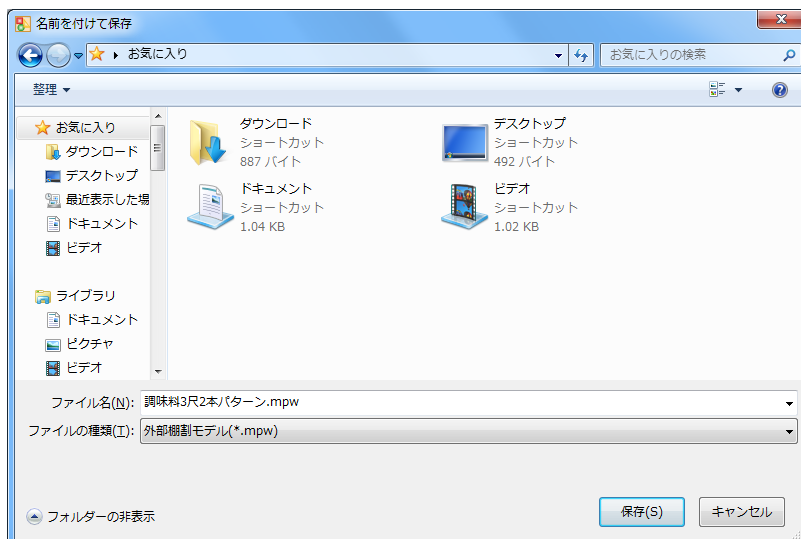
作成した棚割モデルを外部モデルとして、店POWER外の任意の場所に保存します。

外部に保存した棚割モデルを取引先に渡すことで、取引先の棚POWERなどで取り込み、再現が可能です。

起動方法



操作方法



棚割モデルを外部に保存する

1. [棚割操作] - [保存] - [外部モデル保存] を選択します。
2. 「名前を付けて保存」画面が表示します。
3. 外部モデルの出力先を指定します。
4. 「ファイルの種類」より棚割モデルのファイル形式を選択します。

外部棚割モデル (*.mpw)	店POWER独自の棚割モデル形式です。
外部棚割モデル (*.tpw)	棚POWER独自の棚割モデル形式です。
棚割互換形式 (*.csv)	PTS よりも再現性が高く、他社棚割ソフトと互換性のある新規格の形式です。 PTS Ver3.0に加えて、連結、陳列位置、フリー領域、仕切板の情報をもちます。
PTS [棚割配置情報] Ver1 (*.csv)	他社棚割ソフトと互換性のある共通フォーマット形式です。
PTS [棚割配置情報] Ver2 (*.csv)	他社棚割ソフトと互換性のある共通フォーマット形式です。 在庫情報や仕器情報を持っているため、Ver1.0より再現性は高くなります。
PTS [棚割配置情報] Ver3 (*.csv)	他社棚割ソフトと互換性のある共通フォーマット形式です。 Ver2.0に加えて、別商品積上や手前挿入の情報を持つため再現性が更に高くなります。

5. [保存] をクリックします。